

# 岡山市の重要生態系リスト（案）

―― 生物多様性保全上重要な地域の抽出と評価 ――

令和4年6月

岡山市

## 目 次

1	はじめに .....	1
2	重要生態系の抽出 .....	2
3	重要生態系の評価 .....	6
4	「岡山市の重要生態系リスト」の活用 .....	9

## 1 はじめに

岡山市は、面積約 790 平方キロメートルの広大な市域を有し、吉備高原に連なる北部の丘陵地から瀬戸内海に面した平野部まで、変化に富んだ地形に多くの野生生物が生息・生育する自然環境が存在します。私たちは、豊かな水と緑をはじめとした自然のめぐみを楽しみながら四季折々の暮らしを営んできました。

このような自然環境と調和した豊かな暮らしを将来世代に引き継いでいくために、本市では、平成 29 年 3 月に「岡山市生物多様性地域戦略」を策定し、生物多様性の保全とまちの発展の両立をめざして取り組んできました。

岡山市のように人間生活との関わりが深い地域において生態系を保全していくためには、科学的な知見を踏まえたうえで、各地域の住民が主体となり、行政や研究機関、地域外からの市民がサポートを行う枠組みづくりを行うことが必要です。

同戦略では、調査で明らかになった野生生物の情報などを基に、市域において重要な生態系を有する地域を選定し、保全に努めることを重点プロジェクトの一つとしました。「岡山市の重要生態系リスト」はこうした背景のもとで策定を進めたものです。策定にあたっては、岡山市自然環境保全審議会に生態系の抽出と評価について、ご意見をいただきました。

### 【参考】岡山市自然環境保全審議会での審議経過

- 1 令和 2 年度第 1 回岡山市自然環境保全審議会  
日時：令和 2 年 10 月 29 日  
議事：生態系レッドデータブックの作成について  
参考 HP <https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000027475.html> (資料 3-1～3-4)
- 2 令和 3 年度第 1 回岡山市自然環境保全審議会  
日時：令和 3 年 8 月 18 日  
議事：重要生態系の抽出について  
参考 HP <https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000031903.html> (資料 1-1～1-2)
- 3 令和 3 年度第 2 回岡山市自然環境保全審議会  
日時：令和 3 年 11 月 4 日  
議事：重要生態系の評価について  
参考 HP <https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000033149.html> (資料 1-1～1-2)

## 2 重要生態系の抽出

岡山市の生物多様性保全上重要な地域（以下「重要生態系」）に関して、この根拠となる抽出項目と選定基準を①～⑨のとおり設定しました。

この抽出項目及び選定基準の一覧とともに、それらを基に抽出した重要生態系について、項目ごとの該当地域数を表1に示します（項目間の重複あり）。

なお、各地域のうち、重複した複数件もしくは1件の中に飛び地的に複数の地域が指定されている場合など、分割もしくは統合して捉えるべきと考えられた地域については分割・統合して抽出しました。

この結果、重要生態系として94地域を抽出しました（表2、図1）。

表1 重要生態系の抽出項目と選定基準

番号	抽出項目	選定基準	地域数
①	希少種が多く確認されている地域	「岡山市絶滅危惧種集積評価図 <sup>1</sup> 」の集積度が高い各地域について、「岡山市絶滅危惧種リスト」に掲載されたデータの多い場所を選定	21
②	環境緑地保護地域 <sup>2</sup> ・郷土自然保護地域 <sup>3</sup> ・郷土記念物 <sup>4</sup>	地域として指定されているものを選定	10
③	風致地区 <sup>5</sup>	全て選定	2
④	国立公園・県立自然公園 <sup>6</sup>	全て選定	19
⑤	自然海浜保全地区 <sup>7</sup>	全て選定	1
⑥	身近な生きものの里 <sup>8</sup>	全て選定	22
⑦	重要里地里山 <sup>9</sup> ・湿地 <sup>10</sup> ・海域 <sup>11</sup>	範囲が特定できるものについて選定	4
⑧	植生自然度 <sup>12</sup> (自然度9～10)	全て選定(ただし、河川敷に位置するもの、工事等明らかな人為の影響が確認されたものについては除外)	45
⑨	潜在的な重要箇所	岡山市自然環境保全審議会 <sup>13</sup> において、委員より重要な地域の追加の意見が出た地域について選定	1

### 用語解説

- 1 岡山市絶滅危惧種集積評価図：岡山市の保有する絶滅危惧種のデータ（哺乳類、鳥類、両生爬虫類、魚類、昆虫類、昆虫以外の無脊椎動物、維管束植物）について、確認地域ごとの出現数の集積度を、全分類群総合の評価図としてまとめたもの。

- 2 **環境緑地保護地域**：都市周辺の良い生活環境を形成する緑地の地域（>5ha）。  
参考 HP <https://www.pref.okayama.jp/page/573469.html> (岡山県自然環境課) ※以下 3、4 も同様
- 3 **郷土自然保護地域**：自然と一体となって郷土色豊かな風土を形成し、県民に親しまれている地域（>2ha）。
- 4 **郷土記念物**：樹木及び地質鉱物で、県民に親しまれているもの又は由緒あるもの。
- 5 **風致地区**：都市における風致を維持するために定められる地域地区。都市において自然的な要素に富んだ土地における良好な自然的景観。  
参考 HP [https://www.city.okayama.jp/soshiki/12-3-4-0-0\\_11.html](https://www.city.okayama.jp/soshiki/12-3-4-0-0_11.html) (岡山市都市計画課)
- 6 **国立公園・県立自然公園**：ある一定の開発行為を規制することによって、すぐれた自然の風景地を保護するとともに、その風景の中に、歩道や展望台、キャンプ場などを整備することによって、国民の自然とのふれあいを推進することを目的に、自然公園法（又は条例）に基づいて国又は都道府県によって指定される地域。  
参考 HP <https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000027761.html> (岡山市環境保全課)
- 7 **自然海浜保全地区**：砂浜、岩礁その他これに類する自然の状態が維持されている地域。海水浴、潮干狩り、その他これらに類する用に利用されており、将来にわたってその利用が適当であると認められる地域。  
参考 HP <https://www.pref.okayama.jp/page/391480.html> (岡山県環境管理課)
- 8 **身近な生きものの里**：岡山市内の身近な野生生物をシンボルとして、地域住民、土地所有者等の主体的な活動により、それぞれの地域の特性に応じた環境づくりを図ることができると認められる地域。  
参考 HP <https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000015895.html> (岡山市環境保全課)
- 9 **生物多様性保全上重要な里地里山（重要里地里山）**：生物多様性保全の観点から重要な地域を明らかにし、多様な主体による保全活用の取組が促進されることを目的に選定された地域。  
参考 HP <https://www.env.go.jp/nature/satoyama/jyuuyousatoyama.html> (環境省)
- 10 **生物多様性の観点から重要度の高い湿地（重要湿地）**：ラムサール条約登録に向けた礎とすることや生物多様性の観点から重要な湿地を保全することを目的に選定された地域。  
参考 HP [https://www.env.go.jp/nature/important\\_wetland/](https://www.env.go.jp/nature/important_wetland/) (環境省)
- 11 **生物多様性の観点から重要度の高い海域（重要海域）**：海洋の生物多様性の保全と持続可能な利用の推進に資することを目的に選定された地域。  
参考 HP <https://www.env.go.jp/nature/biodic/kaiyo-hozen/ima.html> (環境省)
- 12 **植生自然度**：人間による陸域の物理的破壊状況を把握するため、植物群落の種組成より判断し、その程度を一定の基準を設けて区分したもの。  
参考 HP [https://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg\\_kiso.html](https://www.biodic.go.jp/kiso/vg/vg_kiso.html) (環境省)
- 13 **岡山市自然環境保全審議会**：生物多様性の保全に関する重要事項等を審議するため、学識経験者や市民などから市長が委嘱する委員から構成。



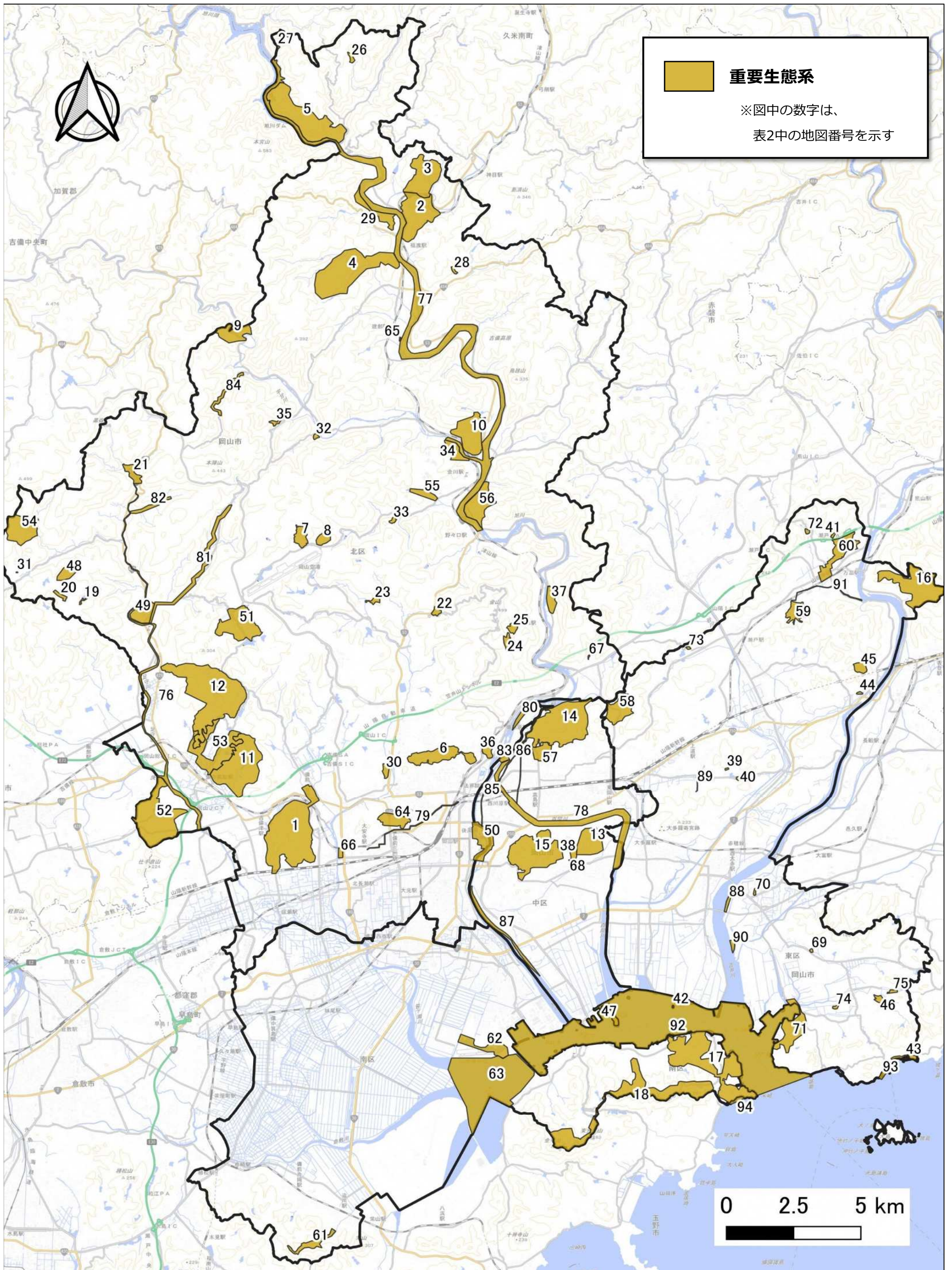


図1 重要生態系の位置概略 ※国土地理院地図 (<https://maps.gsi.go.jp/>) をもとに岡山市作成

### 3 重要生態系の評価

抽出された 94 の重要生態系を評価するため、項目、基準及び得点を①～⑫のとおり設定しました（表 3）。

各地域の評価項目に対し、評価基準に基づいて、それぞれ点を与え、この合計点にて評価しました。

この結果を表 4 に示します。吉備津・吉備津彦神社周辺、龍ノ口山が最も評価点が高く、阿部池が続く結果となりました。同表を「岡山市の重要生態系リスト」と呼ぶこととします。

表 3 重要な地域の評価項目、評価基準及び評価点

番号	評価項目	評価基準	評価点	
①	希少種が多い地域	絶滅危惧 I 類	複数種	5
			1 種	3
		絶滅危惧 II 類	4 種以上	3
			1～3 種	2
		準絶滅危惧	6 種以上	2
		1～5 種	1	
②	環境緑地保護地域・郷土自然保護地域・郷土記念物	指定地域等に該当	5	
③	風致地区	指定地区に該当	5	
④	国立公園・県立自然公園	指定地域に該当	5	
⑤	自然海浜保全地区	指定地区に該当	5	
⑥	身近な生きものの里	認定地域に該当	5	
⑦	重要湿地・海域	選定地域に該当	5	
⑧	植生自然度	自然度 9～10 の地域に該当	5	
⑨	小規模で開発等に対して脆弱な生態系を有する地域 <sup>1</sup>	選定地域に該当	5	
⑩	さとやま指数 <sup>2</sup>	改良さとやま指数の高い地域(0.4 以上)に該当	5	
⑪	環境学習フィールド <sup>3</sup>	2 件以上の利用	2	
		1 件の利用	1	
⑫	人口集中地区 <sup>4</sup>	重複もしくは近接(100m 以内に存在)	3	

#### 用語解説

1 小規模で開発等に対して脆弱な生態系を有する地域：環境省が示す生物多様性の保全上の評



価値が高い生態系のうち、面積が小さい希少な生態系。高山植生などの自然度の高い生態系だけでなく、農地や二次草原など二次的な自然における生態系を含んでいる。この地域は、その特異な環境要因を反映し、希少種や固有種が見られるなど、生物多様性の保全上重要な地域となっている場合が多い。表4中では、「小規模・脆弱」と略す。

参考 HP <https://www.biodic.go.jp/biodiversity/activity/policy/map/map02/index.html> (環境省)

- 2 **さとやま指数**: 農地とその周辺地域の土地被覆の多様度にもとづいた里地里山の指標であり、値が高いほど対象地域の土地利用のモザイク性が高いことを示す。里地里山地域は、農地を中心としてさまざまな環境が入り交じる生物多様性の高い地域であり、また、市民になじみ深い場所である里地里山の保全に寄与する。

参考 HP [https://www.biodic.go.jp/biodiversity/activity/policy/map/map04/index\\_02.html](https://www.biodic.go.jp/biodiversity/activity/policy/map/map04/index_02.html) (環境省)

- 3 **環境学習フィールド**: 市内全ての公民館及び市立の小中学校を対象とし、令和2年度に実施したアンケートにおいて回答のあった地域。
- 4 **人口集中地区**: 国勢調査基本単位区を基礎単位として、1)原則として人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上の基本単位区が市区町村の境域内で互いに隣接して、2)それらの隣接した地域の人口が国勢調査時に5,000人以上を有する地域。

参考 HP <https://www.stat.go.jp/data/chiri/1-1.html> (総務省)



## 4 「岡山市の重要生態系リスト」の活用

「岡山市の重要生態系リスト」により、野生生物の保全や市民意識の啓発など、今後本市が行うべき事業の実施地域に優先順位が設定できるため、効果的に事業の立案ができます。具体的な用途を次に示します。

### ● カルテの作成

評価の高い地域については、写真や地図、評価の概要などを“カルテ”に整理し、本市ホームページで公開することで、市民の皆さんと情報を共有します。

- 重要生態系に関する情報を見える化することで、市民の皆さんに関心を持っていただき、また、様々な意見を寄せていただきたいと考えています。

### ● モニタリングの実施

重要生態系の中から、市内の生物多様性の状況や変化の傾向を把握するために特に重要な環境拠点地を選定し、植物、哺乳類・鳥類・魚類・昆虫などの生息状況をモニタリングします。

- モニタリング結果は、岡山市地図情報システム上に蓄積し、市民の皆さんや研究機関での学びに資することを計画しています。

### ● 「身近な生きものの里」事業の拡充・拡大

重要生態系を保全する団体との交渉の入り口として本リストを用いることで、本事業（地域住民による生物多様性の保全・活用を本市が支援する事業）への認定地域を増やします。

- まずは、重要生態系において自然保護活動を行う団体を探します。本事業の認定条件にマッチする団体とは認定手続きをすすめます。

次期「岡山市生物多様性地域戦略」は、令和7年度策定予定です。

本リストを活用した取組を行い、その実施結果から得られた課題を次期戦略に反映することで、本市の生物多様性行政のPDCAを回すこととしています。